

令和7年10月吉日

関係各位

公益財団法人 日本武道館
書道展事務局

第62回 全日本書初め大覧覧会 開催要項のご送付について（ご案内）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当財団主催の書写・書道普及奨励諸事業につきましては、平素より多大なるご支援・ご協力を賜り衷心より感謝申し上げます。

さて、当財団は「武道を通して青少年の健全育成」という設立目的に沿って、文武両道の視点から書写・書道の普及奨励を図るため、

昭和39年の開館以来、文部科学省をはじめ、全国高等学校長協会、全日本中学校長会、全国連合小学校長会ほか、新聞・テレビ等マスコミ各社からご後援をいただき、標記展覧会を毎年開催しております。

本展覧会には、1月5日に日本武道館で開催しております席書大会（席書の部）と、公募による作品（公募の部）とを合わせて、全国各地より15,000点を超える作品が出品され、その中から厳正な審査を経て、内閣総理大臣賞をはじめとする各賞が決定され、毎年2月に授賞式・展覧会を開催しております。

つきましては、より多くの方々に本展覧会にご参加いただきたく、また、参加者、書道愛好家の励みにもなればと存じ、大会要項等関係資料をお送りいたしました。

出品にあたりましては、団体でも個人でもご参加いただけますので、希望者がいらっしやいましたら、是非、お取り計らいくださいますよう、お願い申し上げます。

なお、本年度、席書の部の予選は行いません。どなたでも、令和8年1月5日(月)に日本武道館で開催する席書大会（本選）への出場申込ができます。また、本展覧会の参加募集チラシを同封いたしましたので、ご活用いただけましたら幸いに存じます。 敬 具



第61回展 席書大会の様子

【問合せ先】

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園 2 番 3 号

公益財団法人 日本武道館 書道展事務局

TEL：03-3216-5144(午前10時～12時、午後1時～4時)

FAX：03-3216-5156(24 時間受信可能)

※本案内が不要な場合、FAXで上記宛「次回以降案内不要」と記入してお送りください。
ラベルに印字されている団体名または会社名も記入してください。

第 62 回 全日本書初め大展覧会 実 施 要 項

1. 行 事 名 第 62 回全日本書初め大展覧会
2. 目 的 書初めを通して、青少年の健全な心身の育成と国民の豊かな心情を養い、併せて伝統文化の振興発展に寄与する。
3. 主 催 公益財団法人 日本武道館
4. 後 援 文部科学省・中国大使館・東京都・全国都道府県教育長協議会・全国高等学校長協会・全日本中学校長会・全国連合小学校長会・全国都道府県立武道館協議会・全日本書写書道教育研究会・公益社団法人日本 P T A 全国協議会・朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・日本経済新聞社・産業経済新聞社・東京新聞・日本放送協会・日本テレビ放送網・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京 (以上申請中)

5. 大 会 役 員 (敬称略/予定)

大会会長 高村 正彦

大会副会長 川端 達夫

大会顧問 江渡 聡徳 ・ 河村 建夫 ・ 塩谷 立 ・ 中山 成彬 ・ 森 英介 ・ 山谷えり子 (五十音順)

大会委員長 片岡 正徳

審査顧問 飯高 和子 ・ 石橋 鯉城 ・ 井上 一郎 ・ 内村 嘉秀 ・ 加藤 東陽 ・ 熊坂 尚史
清水 透石 ・ 杉崎 光波 ・ 田中 孝一 ・ 辻 春葉 ・ 中野 北溟 ・ 長野 竹軒
樋口 咲子 ・ 平形 精逸 ・ 宮澤 鷺州 ・ 米本 美雪 ・ 渡辺富美雄 (五十音順)

審査委員長 片岡 正徳

審査副委員長 加藤 東陽 ・ 中島 昭博

審査委員 青山 浩之 ・ 浅井 幸夫 ・ 石井 昭正 ・ 石坂 雅彦 ・ 伊藤 興秋 ・ 岩永 栖邨
江崎 美里 ・ 小野寺聿源 ・ 恩田 道子 ・ 加藤 俣子 ・ 金子 春洋 ・ 北嶋 悠
倉田 政子 ・ 見城 正訓 ・ 小泉 笙子 ・ 小林 妙子 ・ 小松 錦柳 ・ 西城 研
佐々木裕紀子 ・ 清水 文博 ・ 鈴木 昭和 ・ 鈴木 和枝 ・ 芹澤 翔華 ・ 鷹啄 知美
高橋 観水 ・ 滝口 雅弘 ・ 田中 香 ・ 種谷 萬城 ・ 釣 朋代 ・ 仲本 蘭秀
西野 光文 ・ 古谷 浩之 ・ 幕田 魁心 ・ 松浦 通子 ・ 松田 久枝 ・ 松本 雙鶴
松本 貴子 ・ 見方 弘子 ・ 光野 美香 ・ 森口智嘉子 ・ 矢口 三郎 ・ 安塚 旭洞
山口志げ子 ・ 山口 礼子 ・ 山野 雅行 ・ 横倉 佳男 ・ 横田 貫厚 ・ 渡邊 美穂 (五十音順)

6. 席 書 大 会
- 日 時 令和 8 年 1 月 5 日 (月) 午前 9 時 30 分開会
- 会 場 日本武道館 大道場 (東京都千代田区北の丸公園 2-3) TEL 03-3216-5100 (代)
- 【最寄駅】地下鉄「九段下駅」 東西線・半蔵門線・都営新宿線 2 番口より徒歩 5 分

7. 展覧会及び授賞式
- 日 時 令和 8 年 2 月 22 日 (日) 展覧会 午前 10 時から午後 4 時まで
授賞式 午後 1 時から
- 会 場 (展覧会) 日本武道館 中道場 (住所・最寄駅は上記 6. 席書大会参照)
- (授賞式) 同 大道場
- ※授賞式・展覧会の対象は、内閣総理大臣賞から日本武道館奨励賞まで。

8. 出 場 ・ 出 品
にあたり
- (1) 本展覧会は席書の部と公募の部に分かれており、どちらにも参加可能です。
- (2) 本年度、席書の部の予選は行いません。どなたでも、令和8年1月5日(月)に日本武道館で開催する席書大会(本選)への出場申込ができます。ただし、お申し込み後の出場者の追加・変更は認めません。出場可能性のある方はすべてお申し込みください※。お申し込み後の出場辞退や当日欠席の連絡については、11月中旬発送(予定)の「出場者辞退・確定申込書」等の書類をご確認ください(※申込者数分の大会記念品を当日受付にてお渡しします)。
- (3) 席書大会は、席書時間24分内に当財団が配布する 2 枚の小画仙紙半切用紙(約 136cm×35cm・縦使用)に、指定課題を書き上げ、どちらか 1 枚を提出します。(予選作品がないため、未提出の場合は賞が付きません)。手本や練習用紙の持ち込みは禁止です。
- (4) 公募の部は、各自が書き上げた作品を送付いただきます。詳細は裏面記載のとおり。
- (5) 審査は、席書の部と公募の部に分かれてそれぞれ行い、すべての賞が決定した後、展覧会・授賞式で一堂に展示、表彰します。

※裏面に出場・出品規定と出場・出品手続きを記載していますので、ご一読ください。

9. 出 場 ・ 出 品 規 定
10. 出 場 ・ 出 品 手 続 き
11. 審 査
- 裏面記載のとおり。
- 裏面記載のとおり。

- (1) 書写書道界の権威者によって構成された審査委員会において厳正公平に審査します。
- (2) 1 部 ・ 2 部 ・ 3 部は文部科学省学習指導要領を基準とします。
- (3) 実施要項(出場・出品目録記載事項を含む)の規定違反のほか虚偽・不正が認められる作品や団体は、審査の対象としないことがあります。
- (4) 審査結果は、2 月上旬に郵送をもって通知します。
- (5) 審査結果についての異議は一切、認めません。

12. 表 彰
- (1) 個人賞(予定)
- 内閣総理大臣賞、日本武道館大賞、文部科学大臣賞、日本武道館会長賞、日本武道館理事長賞、後援団体賞(21団体)、審査委員長奨励賞、日本武道館奨励賞、日本武道館賞(以上に楯と賞状)、特選、秀作、佳作、努力賞(以上に賞状のみ)のいずれかの賞を全員に授与します(ただし、やむを得ない事由により、席書大会をはじめ審査会等が実施困難となった場合を除く)。
- (2) 団体賞(予定)
- 全国優秀団体賞、全国優良団体賞を出品数及び成績を考慮して選びます。

13. そ の 他
- (1) 複数団体から同一人の出品はできません。
- (2) 全ての出品作品について、後日、表装申込み(有料)を受け付けます。
- なお、表装申し込みのない作品の返却はいたしません。
- (3) 出品作品は、努めて保護しますが不可抗力による破損等については、その責を負いません。
- 古い墨液や水溶性墨液などは表装した際に、文字がにじんだり消える場合があります。
- (4) 受賞者名簿(有料)には、内閣総理大臣賞から日本武道館奨励賞までの作品を写真版で、日本武道館賞は氏名をそれぞれ掲載予定です。
- (5) 上位入賞者については、当財団ホームページ及び月刊「書写書道」誌上に掲載予定です。
- (6) 当財団ホームページに掲載した作品画像の転載・加工・使用は固くお断りします。

14. 問い合わせ先
- 公益財団法人 日本武道館 書道展事務局
- TEL 03-3216-5144 (午前10時~12時、午後1時~4時)
- FAX 03-3216-5156 (24時間受信可能)

(裏面へ続く)

出場・出品規定

【席書の部・出場申込】 本年度、席書の部の予選は行いません。予選作品の出品は必要ありません。大会出場目録のみご提出ください。

参加資格	大会参加料	申込締切日
1部 幼児及び小学校 2部 中学校 3部 高校	1人につき700円（税込）	令和7年11月7日（金）必着
4部 大学（専門学校生等含む） 5部 一般	1人につき1,000円（税込）	
※当日の詳細（出場者辞退・確定申込書等）については11月中旬（予定）に、申込責任者宛にご案内いたします。		

【席書の部・本選（席書大会）】

参加資格	学年等	課題語句	書体等	署名	用紙			
1部 幼児及び 小学校	幼児	う	漢字は楷書、 仮名はそれに 調和する平仮 名	幼児は氏名（名だけ も可）、小学生と中 学生は学年と氏名を 署名。 ※学年は、(例)小六、 中三とし、(例)六年、 三年としない。 × ○	小画仙紙半切（約136 cm×35 cm） ・縦使用 ※用紙は当財団で用意。			
	小一	さ				く	ら	
	小二	は				つ	め	い
	小三	竹				か	ざ	り
	小四	元				日	の	朝
	小五	青				い	大	海
	小六	初				春	の	風
2部 中学校	中一	文 化 を 守 る	漢字は楷書又 は行書、仮名 はそれに調和 する平仮名	六年 武道 太郎 の未 夢来 小六 武道 太郎 の未 夢来				
	中二	科 学 の 発 展						
	中三	温 故 知 新						
3部 高 校	高・大・ 一般	○ 自 愛 新 梅 好 自ら新梅の好きを愛す ※梅＝梅 (張籍「梅溪」より)		作品に応じた署名。 雅印のみは不可。				
4部 大 学 (専門学校生等を含む)		○ 夢 回 春 草 池 塘 外 詩 在 梅 花 煙 雨 間 夢は春草池塘の外に回り 詩は梅花煙雨の間に在り (楊公遠「次程斗山」より)				※夢＝夢、回＝回、 草＝草、梅＝梅、 花＝花		
		○ わが胸にすむ人ひとり冬の梅 ※梅＝梅 (久保田万太郎「流寓抄」より)						
5部 一 般		○ 春の来る朝の原を見渡せば ※来＝来 霞も今日ぞ立ち始めける (源俊賴「千載和歌集」より)				字種変換 可		
		○ 初日のひかりさし出でて 四方に輝く今朝の空 (千家尊富「一月一日」より)				字種変換 不可		

【公募の部】

参加資格	語句	書体	署名	用紙	出品点数	出品料	申込締切日
1部 幼児及び小学校	席書課題語句、またはこれに準ずる書初めにふさわしい語句	楷書	幼児は氏名（名だけでも可）、小学生と中学生は学年と氏名を署名。 ※学年は、(例)小六、中三とし、(例)六年、三年としない。	①小画仙紙半切 (約 136cm×35cm) ②小画仙紙ハツ切 (約 68cm×17.5cm) ③半紙 (約 33cm×24cm) 上記のいずれかを縦長・白色使用とします。枠等印刷済みのものは不可。	1人5点まで (1人で複数出品する場合は左記①②③いずれかのサイズに統一。異なるサイズでの複数出品は不可)	1部～3部は、1点につき700円(税込)	令和8年 1月8日(木) 必着
2部 中学校		楷書 または 行書				1点につき1,000円(税込)	
3部 高校	書初めにふさわしい語句	自由	作品に応じた署名。 雅印のみは不可。				
4部 大学 (専門学校生等を含む)							
5部 一般							

出場・出品手続き 以下の要領で出場・出品してください。

	席書の部	公募の部
席書の部参加料・公募の部出品料について	左ページのとおり。 参加人数による割引等はありません。	※50点以上出品される場合には、2割の出品料割引と受賞者名簿1部贈呈の特典があります。 出品料合計から20%を差し引いた金額をお振込みください。なお、席書の部の出場数と公募の部の出品数の合算は不可です。 ※例えば1～3部の方が50点出品した場合の出品料の合計は28,000円(35,000×80%)になるため、41～49点で出品するよりも、50点出品された方がより安くなります。
申 込 手 順	① 白色の大会出場目録に必要事項を記入の上、参加料を計算してください。初出場の団体・個人の方は、目録への登録番号の記入は不要。登録番号が不明の場合は、備考に登録番号不明、新規の場合は新規と記入。 ② 同封の郵便振替用紙を使用して、令和7年11月7日（金）までに送金してください。なお、参加料は理由の如何を問わず返納いたしません。 ③ 郵便振替受領証（コピー可）を、大会出場目録右上に貼付してください。 ④ 出品票（裏面記入不可）は大会当日、提出する作品（2枚のうち1枚）に貼付しますので、必ずご持参ください。	① 出品票に必要事項を記入の上、出品する全作品右下に貼付してください。 ※1人で複数出品する場合、作品をひとまとめにして、出品票部分をクリップでとめてください。その際、出品票の作品番号は、同一作品番号とし、序列順に1の1、1の2のように枝番号を記入してください。 ※3部・4部・5部については、出品票裏面に作品語句（コピー可）、出典名、作者名を明記してください。 ② 水色の出品目録に必要事項を記入の上、出品料を計算してください。 ※初出品の団体・個人の方は、出品票と目録への登録番号の記入は不要。登録番号が不明の場合は、備考に登録番号不明、新規の場合は新規と記入。 ③ 同封の郵便振替用紙を使用して、令和8年1月8日（木）までに送金してください。なお、出品料は理由の如何を問わず返納いたしません。 ④ 郵便振替受領証（コピー可）を、出品目録右上に貼付してください。
	出品票と大会出場目録・出品目録の入力フォーム（エクセル）を当財団ホームページ上で公開しておりますので、ダウンロードしてご使用いただくことも可能です。 https://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/kakizome/kaisai	
		振替用紙がお手元ない方は、郵便局に備え付けの振替用紙を使用し、ATM等から下記口座にお振込みください。その際、振替用紙の通信欄には、（ア）『書初め展席書の部』もしくは、『書初め展公募の部』、（イ）入金内訳（例：登録番号のK-0000又はS-0000、小学校○人・点○○○円、中学校○人・点○○○円 合計○○○○円など）を必ず記入してください。また、依頼人氏名は、目録右下記入の責任者氏名と同一人でお願いします。 （送金先）口座番号：00110-6-358611 加入者名：公益財団法人日本武道館 書道展
	⑤ 受領証を添付した大会出場目録を日本武道館へ 令和7年11月7日（金）必着 でご送付ください。	⑤ 出品票を貼付した作品と受領証を貼付した出品目録を日本武道館へ 令和8年1月8日（木）必着 でご送付ください。 ※出品票の貼付が無い場合は別途郵送いただきます。
	（送付先）〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2番3号 公益財団法人 日本武道館 書道展事務局 宛 ※発送の際、封筒などの表に『第62回展（席書出場目録または公募作品）在中』と明記してください。	

第62回 全日本 書初め 大展覧会

◆ 席書大会

期日 令和8年1月5日(日)

会場 日本武道館 大道場

東京都千代田区北の丸公園2番3号

◆ 公募の部

締切 令和8年1月8日(木)

書道展事務局必着

◆ 展覧会及び授賞式

期日 令和8年2月22日(日)

〔展覧会〕午前10時から午後4時まで
〔授賞式〕午後1時から

会場 〔展覧会〕日本武道館 中道場
〔授賞式〕日本武道館 大道場

東京都千代田区北の丸公園2番3号

※地下鉄「有明」下車徒歩5分



内閣府大臣賞、予定から日本武道館会長賞までは別途、日本武道館理事長賞から日本武道館奨励賞までは板巻紙留め表紙にて提示します。



◆主催 公益財団法人 日本武道館

◆後援 文部科学省・中国大使館・東京都・全国都道府県教育長協議会・全国高等学校長協会・全日本中学校長会・全国連合小学校長会・全国都道府県立武道館協議会・全日本書写書道教育研究会
公益社団法人日本PTA全国協議会・朝日新聞社・読売新聞社・毎日新聞社・日本経済新聞社・産業経済新聞社・東京新聞・NHK・日本テレビ放送網・フジテレビ・テレビ朝日・テレビ東京以上、申請予定

お問い合わせ (公財)日本武道館書道展事務局 ☎03-3216-5144

〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2番3号

FAX 03-3216-5156

日本武道館 書初め 検索

<https://www.nipponbudokan.or.jp/>



公益財団法人

日本武道館

第62回 全日本書初め大展覧会 要項等送付希望申込書

申込日 令和 年 月 日

団体名 ※個人の場合は記入不要	
フリガナ	
ご氏名	
ご住所	〒
電話番号	

◎本展覧会を何でお知りになりましたか。 差し支えなければお聞かせください。

※ 上記、必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてご送付ください。

〔郵送先〕 〒102-8321 東京都千代田区北の丸公園2-3
(公財)日本武道館 書道展事務局
〔FAX〕 03-3216-5156

※ 本申込書で取得した個人情報、事務連絡の作成等に利用いたします。

受付日



出品票と大会出場目録・出品目録の入力フォーム(エクセル)を当財団ホームページ上で公開しておりますので、ダウンロードしてご使用いただくことも可能です。
<https://www.nipponbudokan.or.jp/shodou/kakizome/kaisai>